

ニュースリリース

ネクステック、電源自給 GNSS 固定基準局装置を発表 ～中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業の支援を受けて～

株式会社ネクステック(社長: 大石憲且、本社: 札幌市)は、電源を自給して動作する GNSS 固定基準局装置の試作品を発表しました。本装置は、IT を活用したシステムによる農業の生産性向上を図り、農業の高度化のために必要となる技術の確立と高度化を実現する目的で、中小企業庁の中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業の支援を受けて開発したものです。

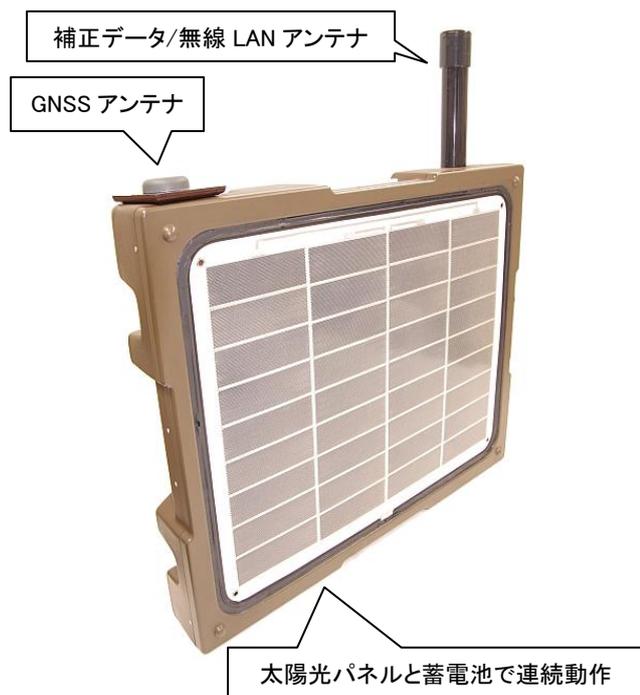
精密農業や情報化施工で必要となる、ガイダンスシステムやマシンコントロールでは、機械の位置を精密に側位することが必要となります。精密測位では従来、高価な基準局(※1)を購入し電源を確保した上で設置するか、インターネット接続を用意し補正情報サーバーのデータ配信(※2)に対して高額な利用料を支払う必要がありました。加えて、精密農業や情報化施工の現場では電源や通信回線の工事をするのが困難な場所が多く、高額な費用と合わせて技術の導入障壁となっていました。

こういった状況に対し、屋外電源自給無線 LAN 基地局・中継局「ポジモ」(※3)の開発で磨き上げた”太陽光による電源自給技術”を基盤として、電源自給 GNSS 固定基準局装置を開発しました。これにより、基地局の費用を従来の半分以上に抑えて精密測位を実現することができます。併せて、無線 LAN による通信も使用できることから、農業や土木建設といった屋外作業の分野での ICT 利活用を促進していきます。本装置は、2015年11月3日から4日まで仙台市で開催される、「中小企業 新ものづくり・新サービス展(北海道・東北ブロック)」に展示されます。

[報道関係の方からのお問合せ先]

株式会社ネクステック 担当：伝法、高橋 / Tel.011-729-3711 / メール：sales@poggimo.info

[電源自給 GNSS 固定基準局装置 写真]



[各注釈についての参考 URL]

※1 基準局：

RTK-GPS/GNSS 方式で、移動局(測位対象)に対して補正データを送信する装置。精密測位対応で数百万円程度。

※2 補正情報サーバーのデータ配信：

ネットワーク型 RTK 方式で、補正データを配信するサービス。年間のデータ配信費は数十万円程度。

※3 ポジモ：

屋外で外部電源無しで連続稼働する、無線中継機能を備えた無線 LAN アクセスポイント。工場、観光地、イベントなどでの利用実績がある。

製品公式サイト <http://www.poggimo.info/>

[株式会社ネクステックについて]

設立：1997年11月
所在地：札幌市北区北7条西5丁目8-1 北7条ヨシヤビル 8F
代表者：大石 憲且
資本金：30百万円
電話/FAX 番号：011-729-3711 / 011-729-3712
事業内容：サーバ/ネットワークの運用、VPN 製品/サービスの販売、システム/ネットワーク開発